

WHOIS 公開情報を利用したメール認証が停止となります

2018/5/25(欧州時間)より欧州全域で施行される、「一般データ保護規則 (GDPR)」により、ネット・リアルに関わらず欧州市民および居住者の個人情報とは所定の手続きによる本人の同意なく公開・共有することができなくなります。 **その対象は、本社を欧州域外に置く世界中の企業・法人組織におよび**、同規則に違反した場合には全世界売上の 4%あるいは 2000 万ユーロのいずれか大きい金額がペナルティとして課されます。

【参考情報】トレンドマイクロ株式会社公開情報

https://www.trendmicro.com/ja_jp/business/capabilities/solutions-for/gdpr.html

これにより、スターフィールド SSL では、2018/5/25 AM700 (日本時間)以降、個人情報を閲覧不可とする措置を取っている・いないを問わず(JPRS WHOIS は当該規則外にありますが) **WHOIS 公開情報を利用したメール認証**は停止することになりました。

したが、ドメイン認証手続き(申請者がドメイン利用権限を有しているかの検証)は、予めより代替策として実施してきた以下の 3 つの方策に限られることとなります。

1. WHOIS 公開情報に依存しないメールアドレスへの「認証メール」配信

https://www.jcert.co.jp/procedure/pdf/authentication/mail_auth.pdf

b. 次の5つのメールアドレスへの一括同報 (一部アドレスの選択は不可)

admin@ (ベースドメイン名)、 administrator@ (ベースドメイン名)、 webmaster@ (ベースドメイン名)、 hostmaster@ (ベースドメイン名)、 postmaster@ (ベースドメイン名)

: b 「次の5つのメールアドレスへの一括同報」 を選択してください。

2. DNS への固有 ID の TXT 登録認証

3. 固有 ID を表示した Web page (html) 認証

https://www.jcert.co.jp/procedure/pdf/authentication/id_auth.pdf

: いずれの場合も、上記 b を選択しないでください。

上記代替策詳細につきましては、リンク先資料をご参照ください。

以上